学校番号	407

令和８年度　芸術(美術)科

教科	芸術	科目	生活美術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生になって初めて美術を学ぶ生徒や、物づくりの楽しさを学びたい人のための科目です。
伝統工芸の継承や、身近な材料を使って日々の生活で使えるものをつくる喜びを味わってほしいと思っています。

2　学習の到達目標

⑴　【知識及び技能】創造的な工芸やデザインの制作をするために必要な技能を身に付け、制作方法を創意工夫し、表現する。
【思考力、判断力、表現力等】
⑵　デザイン・工芸の働きなどについて考えるとともに、思いや用途などから発想や構想を練り、工芸文化の継承について感じ方を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
⑶　普段の生活の中で季節を感じたり、道具の扱いについて考えたり、そこから得る発想により主体的に表現し創造活動に取り組もうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、手順や技法などを吟味して造形的に表す技能を身に付ける。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、使う人の願いや生活環境などから、目的や機能を考え、創造的な表現の構想を練っている。	主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じとり、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	キャンドル	クレヨンと蝋を溶かし、キャンドルをつくる。 重なることによってできる配色を考え、ユニークな形を創り出す。	a:形や色などが感情にもたらす効果や配色を捉えることを理解しているか。 b: 蝋の特性をいかした表現方法などについて考え創造的な表現をする。 c:主体的に自分の思いなどをもとにした表現活動に取り組もうとしているか	授業観察	授業観察	授業観察
	空間デザイン	自分だけの世界を想像し、思い描いた空間をデザインする。 2次元から3次元への展開 形、色、構図などの構想を練る。 完成作品を鑑賞しあい意図や工夫を話し合う。	a:形や色、材料などが自分のテーマにもたらす効果を理解し、全体のイメージにあった表現をする。 b: 夢や想像、自分の思い描いた構図や構成を組み合わせているか。材料の質感などを生かした表現などについて構想を練っている。 c: 主体的に自分の思いなどをもとにした表現活動に取り組もうとしているか。	授業観察	授業観察	授業観察
2学期	シルクスクリーン版画	主題をもとに自分だけのオリジナルデザインを描く。 トートバッグに印刷することを考えデザインする。	a:形や色などがもたらす効果や全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているか。 b:自分の思い描いた構図や構成を組み合わせているか。材料の質感などを生かした表現などについて構想を練っているか。 c: 主体的に想像した世界を描いた作品の美しさや思いについて表現しようと取り組んでいるか。	授業観察	授業観察	授業観察

	段ボールアート	段ボールとボンドのみを使って、自転車を作る。 細部まで観察して、そっくりに作る。 また、タイヤが回る構造を理解して再現する。	a: 自転車を観察して段ボールの特性を生かし全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているか。 b: 単純化や省略、材料の質感などを生かした表現などについて構想を練っているか。 c: 主体的に想像した世界を描いた作品の美しさや思いについて表現しようと取り組んでいるか。	授業観察	授業観察	授業観察
3学期	卒業制作	今まで習得した技術を活かし、卒業制作として何を作るか考え自由に制作する	a:形や色、材料などが自分のテーマにもたらす効果を理解し、全体のイメージにあった表現をする。 b:単純化や省略強調、材料の質感などを生かした表現などについて構想を練っている。 c:主体的に必要な道具、材料をかき出し、予定を立て、取り組むことができたか。	授業観察	授業観察	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度